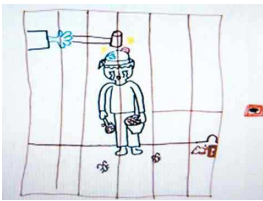


幸せを
探している
あなたに

第2の「ナヨンちゃん事件」を防ぐ道



ナヨンちゃん事件日誌
-2008年12月11日アンサン
で暴行事件発生
-2008年12月13日チョ・ド
ゥスン逮捕
-2009年8月10日大法院で
懲役12年確定
-2009年9月22日、ある放
送局で暴行事件を報道、お
よび、市民の怒り爆発

12年監獄と一生の悪夢 「昨年の12月中旬、キョンギ・アンサン市で、犯人のチョ・ドゥスン(57才)は、登校中のナヨンちゃんを商店街の建物のトイレに連れ混んで、ひどく殴りつけた後、暴行した。八才の娘の可愛らしい鼻筋は、腕力で砕かれ、娘の性器はからだの外にあふれ出てしまっていた。また、女の子は肛門まで壊されてしまった。ナヨンちゃんは、7~8時間かけた大手術の末、大腸と直腸を取り除くことになった。しかし、性器と肛門などの機能は永久に喪失してしまった。それだけではなく、犯人のチョ・ドゥスは、完ぺきな証拠を突きつける警察の前でも、犯行をかたくなに否認しながら、悔いるどころか、刑事に『刑務所で熱心に運動をして出てくるから、その時、覚えておけ』と威嚇までした。」

暴行でなく、殺人未遂に該当する人面獣心の犯人チョ・ドゥスンに対する12年という軽い刑の宣告を置いて、極刑に処すようにとネチズンの怒りが沸きあがる中、大統領まで立ち上がって心が痛むと表明しました。あるコラムニストは、この事件が嘘であることを願うと言いながら「このようなサイコパス的な犯罪が遺伝的な原因と環境的要因の複合的産物ならば、はたして、ひとりを罰するからといって真の

慰めになるだろうか。そして、凶悪犯に責任を問うなら、邪悪な遺伝子を譲った三代を罰すべきなのではないか」という悩みを告白しました。すべての暴力犯がそうなのですが、特に性的な暴力の再犯率は最も高いです。2006年2月ヨンサン小学生の暴行殺害事件の犯人キムは前科9犯、2007年12月ヘジン、イエスル暴行殺害事件の犯人チョン・ソンヒョンは前科7犯、2007年チェジュ小学生セクハラ殺害事件の犯人ソンは前科23犯、クンボ女子大生殺人事件の犯人カン・ホスは前科9犯でした。希代の殺人魔ユ・ヨンチョルは前科11犯、ナヨンちゃん事件の犯人チョ・ドゥスは前科14犯でした。皆さんはこれが単純な衝動で発生した事件だと思いませんか。

このような悪行の繰り返し、呪いの相続は、いったい何のためでしょうか 聖書は、人間が科学でも、哲学でも説明できない霊的な存在であり、必ず神様に会うように創造されたと明らかにしています。ところが、人間は神様を離れた以後に問題が生じました。この問題が霊的問題なのです。原罪です。私は何も誤っていないのに、代々、受け継がれている家系の問題が私にも訪ねてくることを霊的問題だと言います。それで終わるのではなく、続いて精神問題、肉体の問題、家庭問題、来世の問題、次世代の問題がくるようになります。このようにさせた張本人が、サタン(Satan)という霊的存在です。サタンという言葉は、敵対する者という意味で、サタンのギリシヤ語である悪魔は「引き離す者」という意味です。サタン(悪魔)は、神様に敵対して、天から追い出された存在で、人々が神様に敵対するようにさせ、人々の間を引き離して、人間関係を破壊させます。サタンの手下がいるのですが、それらを示して悪霊、汚れた霊、あるいは惑わす霊と言います。聖書はこのサタンが偽りの父で、滅ぼす者だと明らかにしています。人間は、このサタンの権威に勝てないから、神様はイエス・キリストをこの世に送ってくださいました。霊的問題の根本の根を解決してくださったのです。イエス・キリストは、神様に会う道になってくださいました(ヨハネの福音書14:6)。すべての罪と呪い、生年月日による運勢、運命から解放させる道になってくださいました(ローマ人への手紙8:2)。サタン(悪魔)のしわざを打ちこわし、その手に捕まって、奴隷のようにになっている者たちを解放する道になられました(ヨハネの手紙第一3:8、ヘブル人への手紙2:14-15)。イエス・キリストを信じて神様の子どもになって、すべての呪いとサタンの手から解放されるとき、霊的問題がもたらすぞっとする犯罪から解放され、繰り返す犯罪を防ぐことができるのです。

「神の子が現われたのは、悪魔のしわざを打ちこわすためです」(ヨハネの手紙第一3:8)

事情を知って 祈る 重職者



ジョン・ワナメイカーの手紙 この手紙は73歳になったジョン・ワナメイカー(1938-1923、アメリカ郵政長官、デパート王)長老がお母さんを失って悲しむ教会学校の学生のジェニーに送った手紙です。

愛するジェニー、あなたの人生の最も悲しい時期である今、私もあなたと一緒に泣いています。私はあなたを愛していて、あなたのお母さんがどれくらい優しい方だったかをよく知っているの、あなたといっしょに苦しみを分かちあいたいです。私はあなたのお母さんがさっき亡くなって、神様のみもとに行ったという知らせを聞いて、すぐにあなたのあるところに行こうと、すべての忙しいスケジュールを取りやめました。お母さんを見送ったあなたを、どんな言葉で慰めたらよいかは分かりません。あなたの悲しみを心から分かちあいたいです。

私はあなたの鋭い感受性を知っていて、あなたが愛する人々と、どれくらい深い系で結ばれているかも知っています。最も大切な人が、私たちのそばを離れて天国に行く時、私たちができることは互いに近く近づいて、愛する人々と痛みを分かちあって、暖かい神様のふところに頼るように助けることです。あなたのお母さんが生きておられたとき、こちらに残された友だちはとても幸せでした。私たちは腐ってなくなる目を持っているので、遠くを見ることができませんが、善良なる神様を信頼する人々は、遠い将来を鮮明に見て、全てを悟るようになるのです。私はジェニーが願う時ごとに、いつでもあなたのそばに走って行きますし、愛するジェニーのためにずっと祈っています。

1910年11月30日、ジョン・ワナメイカー

事情を理解して祈る重職者は教会と次世代を生かします。パウロは「あなたがたとラオデキヤの人たちと、そのほか直接私の顔を見たことのない人たちのためにも、私がどんなに苦闘しているか、知ってほしいと思います。それは、この人たちが心に励ましを受け、愛によって結び合わされ、理解をもって豊かな全き確信に達し、神の奥義であるキリストを真に知るようになるためです。(コロサイ2:1-2)」と告白しました。重職者が、神様の主権の下に立てられた牧会者を理解して、牧会者と地教会の背景になり、牧会者は重職者の価値を知って、1人1人を貴重に思って対話して理解して祈り、一般信徒は自分と教会に対するアイデンティティーを理解して祈るとき、使命者が起きて、レムナント(次世代)が訪ねてくるようになります。ここに、ともにおられる神様の答えと伝道の働きと現場で暗やみの文化が変化する霊的権威が始まるのです。

神様の子どもになる受け入れの祈り

愛の神様、私は罪人です。イエス様が十字架で死んで、復活されることによって、私のすべての問題を解決してくださったキリストであることを信じます。今、私の心の扉を開いて、イエス様を私の救い主として受け入れます。今、私の心の中に来てくださって、私の主人になって、私を導いてください。これから、神様の子どもになった祝福を味わいながら生きるようにさせてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

神様の子ども五つの確信

1 救いの確信: イエス・キリストを信じて受け入れたあなたは、神様の子どもになって救いを受けました(ローマ 8:15-16、Iヨハネ 5:10-13)

2 祈り答への確信: 神様の子どもはイエス・キリストのお名前でも何でも求めることができ、神様はみこころ通りに必ず答えてくださいます(ヨハネ 15:7)

3 導きの確信: 神様は聖霊であなただの中におられ、あなたのすべての人生を治めながら導かれます(ヨハネ 14:26-27、箴言 3:5-6)

4 赦しの確信: あなたのすべての罪はイエス・キリストのあがないの血の力で解決され、神様はだれでも罪を悔い改めれば許して下さいます(Iヨハネ 1:9、ローマ 3:24)

5 勝利の確信: 救われたあなたは、世の中に勝たれたイエス・キリストによって、どんな問題の中でも信仰で勝利することができます

神様の子ども毎日の祈り

父なる神様、イエス・キリストによって神様がいつも私とともにおられて、導かれることを感謝します。

今日も、すべての生活の中で、神様の子どもになった祝福を味わうように、聖霊で満たしてください。

私の家庭と現場と行くところごとに、福音を邪魔して困らせるすべてのサタン勢力を権威あるイエス・キリストの御名で縛ってください。

どんなこと、どんな問題でも、解決者であるイエス・キリストに任せて、その中で神様のより良い計画を発見しながら、聖霊に導かれる生活になりますように。

私の生活を通して、イエス様がキリストであるということがあかしされるようにして、私の現場に神の国が臨むようにしてください。

毎日、私の生活の中で神様の願いである世界福音化の契約を握って勝利できますように。

わたしの名を覚えさせるすべての所で、 あなたを祝福しよう

「もし皆さんが祈りよりもっと大きい楽しみを発見したら、聖書よりもっと好きな本を発見したら、教会よりもっと良い場所を発見したら、主が与えてくださった食卓よりもっと良い食卓を発見したら、イエス様よりもっと良い人を発見したら、天国よりもっと良い希望を発見したら、皆さんは信仰に警報を鳴らさなければなりません」

この言葉は、アメリカのデパート王ジョン・ワナメイカーの「こういうときは気をつけてください」という文章です。皆さんの最高の関心はどこにありますか。

神様が最も心を寄せられることは伝道ではありません 伝道がなるようにすることです。救いが何か本当に分かったら、伝道に対する理解も、祈りも変わるようになっていきます。救いは神様の絶対主権的な予定の中にあることです。そして、運命から、サタンの権威から抜け出るのが救いで、サタンの権威に陥った人間を救い出すのが伝道です。その祝福と内容を悟って味わうのが祈りです。それでは、伝道はするのではなくて、なることです。このとき、神様が私たちに約束された12の答え(3 改革-人生/宗教/文化改革、3 征服-現場/経済/文化征服、3 献身-いのちの的/いのちをかけた/いのちを生かす献身、3 答え-過去/現在/未来)が出てくるようになっていきます。そして、2010年度には重職者の新しい戦略5つを準備しなければなりません。地教会中心に伝道運動する重職者を立てて 専門家(テオピロ、ルカ、ガイオ、アクラとプリスキラ夫婦、ピレモン)中心の地教会を立て 組織(コルネリオ-軍隊の百人隊長)中心に多くの重職者と地教会を立て 韓国内の外国人を(エチオピアの宦官)訓練させて重職者と地教会を立て 国外に重要な弟子に会って、伝道運動するように重職者と地教会を立ててみことば運動を行わなければなりません。このとき、すばらしいことが行われ始めます。

地教会運動という言葉は一言で改革です 今までは集まる教会だけを考えていました。私たちは3つのことを考えています。集まる教会と散る教会、そして、また集まる教会。その鍵は 散る教会です。地教会は平日教会を言います。今まで世界教会は教会堂中心でした。ところで、地教会運動は教会堂中心はもちろんですが、現場教会を言います。今までは一般信徒が説教を聞いて行ったのですが、私たちは一般信徒と重職者中心のみことば運動です。それでこそ、現場が生かされるのです。神様が願われるのは、すべての信徒がワンネス(Oneness)になって、力を集める経済です。これが目に見えない大きい改革です。今から五ヶ所に対して祈らなければなりません。重職者中心の地教会 専門家中心の地教会 そして、これから全国、世界教会を見通しながら福祉中心の地教会 文化中心の地教会 レムナント(次世代)中心の地教会、ここには未来経済、知識経済が含まれています。このようにして、福音運動を行っていくのです。

それで私たちに最も必要なことは神様がくださる力です イエス様が最後に祈りを教えてくださいました。祈れと教えられたのではなく「しかし、聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けて、地の果てまで証人になります」と言われました。この力を得られなければ、さ迷うようになっていて、もがいて、この人あの人、いくら手段を働かせてみてもだめになるようになっていきます。本当に他の動機なく、ただ聖霊の満たしを祈ることができるならば、無条件に世界を変化させられます。異邦人の完成のなるときまで。神様の御名を覚えさせるすべての所を祝福してください。皆さんが行くすべての所に祝福してください。神様は今でもそして永遠に働いておられます。

説教_柳光洙牧師, 整理_チャ・ドンホ牧師

毎日毎日の森の泉

12日(月)ビジョン探し(使徒2:17)

聖霊に満たされて味わえば、ビジョンを見るようになって、具体化されて、補強されながら、結局、成就するようになります。それで先に私自身が客観性と合理性、主観性と事実性、人生の規律と真実性をそろえて、みことばと祈りを通して神様がくださるビジョンを正確に見て、神様の子どもらしく挑戦すれば良いのです。

13日(火)伝道者の目(使徒3:1~15)

福音の中に全てのものであるから、ここに焦点を合わせれば、すべての門がみな開かれるようになります。備えられた弟子、時代を生かす弟子に会うようになって、成就するみことばを受けるようになります。そして、福音を持った者が祈る時に起きる現場の働きを見るようになって、福音の必要性を知って事実に祈りが始まります。

14日(水)ほかの神々があってはならない

(出20:3)

福音を抱くということは、霊的事実を知ることです。他の神々があってはならないというみことばは、サタンによって滅びるなどというみことばで、神様が与えられる真の答えを受けなさいというみことばで、心の中に確実な証拠と契約として刻んで人を生かせということなのです。

15日(木)比べられない苦しみと栄光

(ローマ8:18~25)

苦難を体験してみれば、その人の信仰、水準、人格、過去が見えて、未来も推察できます。神様は大きい祝福を受ける人物に、大きい苦難をくださることが多いです。救われた者は、苦難の前で、他の力を持っていて、真の希望があって、答えの時刻表を持っていることを記憶しなければなりません。

16日(金)伝道を正しくするための伝道

(使徒5:42)

伝道を正しくしようとするなら、先に毎日、定刻祈りの中でスケジュールにともなう個人伝道計画を持たなければなりません。そして、実を結んだ新しい家族をどのように(だれ、教会)養育するのか、どのように訓練させて、福音の根をおろして確立するのかを考えて、弟子として立てて派遣する日、奇跡が起こる日です。

17日(土)未来に向けられた事実に答える

(使徒2:17)

信仰生活で最も重要な鍵は、みことば成就を現場で味わうことです。神様のみことばと関係したこと、成就したこと、現場の働きを見る時、個人変化が起きます。みことばの前で、自分自身を発見して、私がしなければならぬ伝道の時刻表と図表を見つけて祈る時、事実に答えるを味わうようになります。

週間メッセージ

聖日1部：わたしの名を覚えさせるすべての所で、あなたを祝福しよう
(出20:22~26)

聖日2部：完成のなる時まで
(ローマ11:25~27)

だれが 助けられるのか



イラスト_ユン・スルギ

「ひと」を漢字で人と書く。この字は二人が寄り添った姿を表現したことで、結局、人は単独では生きられないということを見せるのだ。人間が幼い時は、両親のそばで暮らして成長して、配偶者と一緒に暮らす、老いてからは子どもの手に頼るしかないのが人生だ。しかし、このごろはすべての存在が一人の人生を追求していくので、多くの問題がもたらされている。

人生は自ら存在できるのではないので、神様の中にいてこそ幸せだ。聖書にも、人が一人で生きているのは良くないと言われている。それにもかかわらず、人間は近い未来も見ることができない瞬間の選択で、滅びの道であることを知らないまま、自らの道を選択して、結局、失敗の連続線上で今日も苦しんでいる。しかし、今は、選択を変えなければならない時だ。

ある人が本をみな書いて、挨拶の言葉で、これまで本を書けるように助けてくださった方々に感謝して、その間、時間を割けなくて待たせた家族にも感謝すると書いた。重要な映画賞の授賞式で、ある人は自分の今日があるように助けてくれた、いろいろな人を退屈に思えるほど羅列しながら感謝するのを見るようになる。他の人には失礼になるかも知れないが、その人自身には助けとなった人々に、重要な時間に心を表したいというのは、当然な考えだろう。

今日の人生が成功の道を行っていても、そうでなくても、到達の過程を経ていて大変な旅程を歩いていても、私たちの今日があるまでには見えない多くの隠れた助けと世話があった。人間は、そのような存在である。日常的な生活でのがして生きているが、救いの必要性和その祝福を成し遂げることに多くの人々の希望と祈りが隠れている。もし、あなたが、今、福音を敬うのか、あるいは恐れるのかはわからないが、この福音が伝えられる過程は簡単に考える

こともできない永遠という時間を横切ってきたメッセージであるということをつらなければならない。人間の絶対の幸せと誤った選択、そして、苦しみの中で開かれた道の意味について、まさに、今、私の前で伝えようと思うメッセージを持って、私を助けようと立っている人は、驚くべきことにそれをそうなるように祈ってきた家族、知り合い、同僚、あるいは知らない人々の切実な祈りの結果であることを分かったら、驚かざるをえないだろう。

はたして、だれが失敗する人生の道で縛られている人生に、猫の首に鈴を付けるように、困難を突き抜けて人生の価値を見つけるように支援できるかということだ。問題の中の人、問題の人に会いやすいが、失敗した選択で苦しんでいる人には、何よりも成功の選択を提示する人が要求される。今、あなたの周りには多くの人々がいるだろう。みな必要で大切な人々に間違いない。しかし、真に私のたましいと永遠な人生に対する正確な救いの知識を持って私を助けられる人は、はたして存在しているかが問題だ。だれがあなたを助けられるのか。生きておられる神様を否認した哲学者ニーチェが、死の瞬間に神様を探したが、彼に神様を知らせる人はいなかった。もしかしたら、今は神様が必要なく見えるかもしれないが、いつか神様を求める時、あなたにはそのようなことがないことを祈る。

チョン・ヒョングク牧師(福音コラムニスト)

* 相談したい方はこちらまで連絡してください